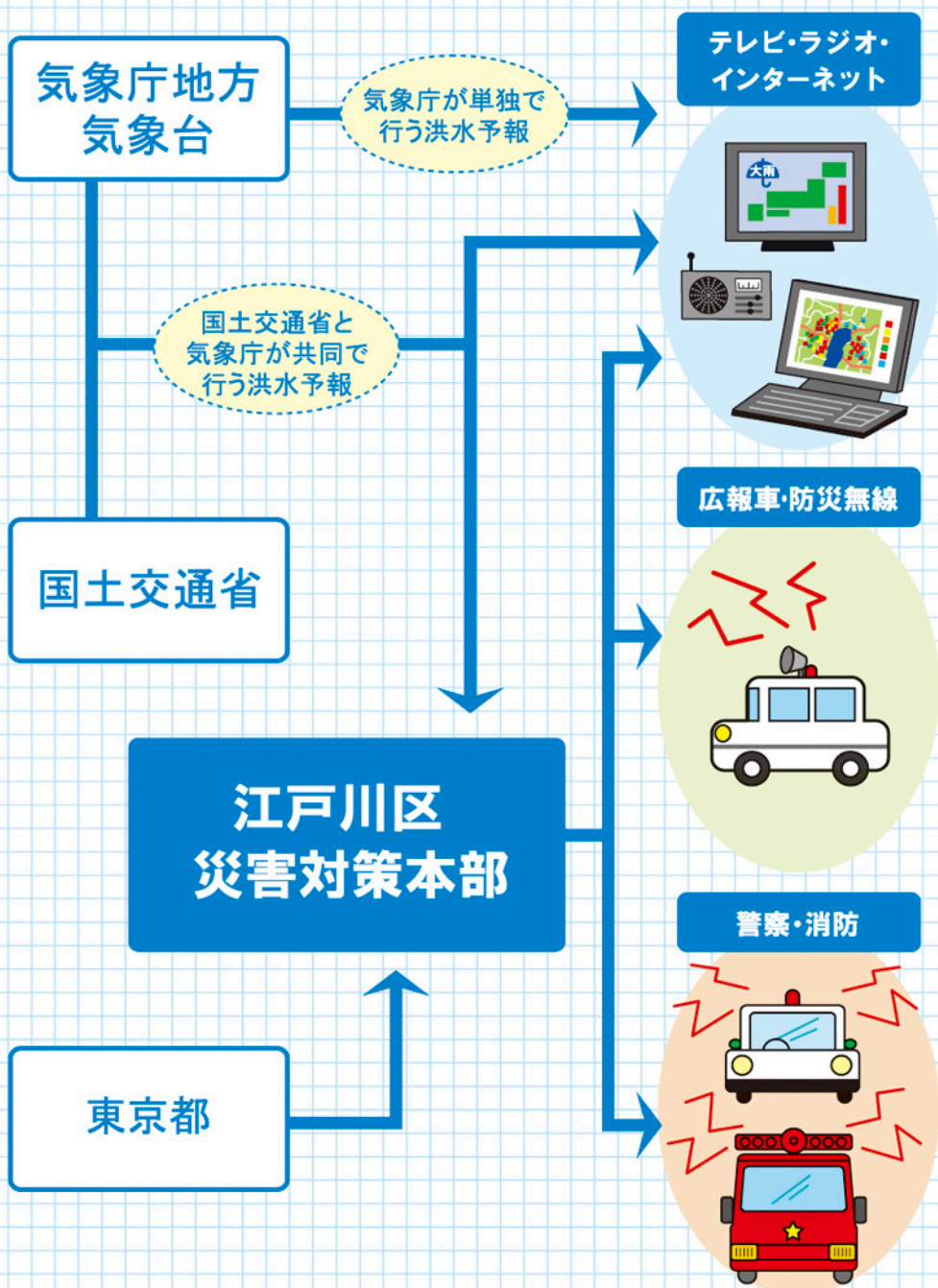


公共機関から発表される洪水予報・避難情報などの

自主的な避難ができるように、情報収集をしましょう

もし大雨が降ってきたら、気象庁や国土交通省から発表される洪水予報をテレビ・ラジオ・インターネットなどで収集し、自主的な避難の判断に役立てましょう。また、区の広報車・防災無線・警察・消防をとおして呼びかけられる避難情報によく注意をしましょう。

区民のみなさんへの情報の伝達手段・経路



洪水予報

洪水被害の発生する恐れがある場合に発表されます。自主的な避難の判断に役立ててください。

避難情報

区民のみなさんがとるべき行動を呼びかけます。この避難情報にしたがって行動してください。

災害に関する情報に注意しましょう



大雨の時など場合によっては、洪水予報・避難情報が出されるのが遅れたり、聞こえにくいことがあります。危険を感じたら自主的に避難してください。

区民のみなさん

一般の方



要援護者※



避難準備・避難行動

避難準備、
避難の時の
心がけは？
(P5,6)

※:要援護者とは、高齢の方や何らかの障害がある方など、災害時に援護を要する方を意味します。詳しくはP8をご覧ください。

雨の降り方で洪水の危険度をチェック



洪水の原因となる雨。この雨の降り方により、洪水の危険度がおおよそ分ります。雨の降り方を観察し、自主的な避難活動に役立てましょう。

やや強い雨

1時間に10～20ミリ



ザーザーと降り、地面一面に水たまりができる程度の雨。長く続くときは注意が必要。

強い雨

1時間に20～30ミリ



どしゃ降り、傘をさしていても濡れてしまう程度の雨。道路や公園のくぼみ、低い土地に水たまりができます。

激しい雨

1時間に30～50ミリ



バケツをひっくり返したような雨。道路冠水が見られ、低い土地では浸水被害が発生する恐れがあります。

非常に激しい雨

1時間に50～80ミリ



滝のように降り、傘が全く役に立たなく、先が見えない程の雨。下水道の排水能力を超え、いたるところで道路冠水や浸水被害が発生する恐れがあります。

猛烈な雨

1時間に80ミリ以上



息苦しくなるような圧迫感のある雨。雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。